

# 鹿大教職組ニュース

No. 1268 2016年6月17日 発行：鹿児島大学教職員組合

Tel. 099-285-7285 Fax. 099-285-7286 e-mail. ka-kumiai@leaf.ocn.ne.jp

－裏面に5月27日に行われた団体交渉のご報告がございます。組合員でない方もぜひご覧ください－

## 組合ホームページリニューアル

ホームページを5月26日にリニューアルオープン致しました！

緑を基調とした爽やかなデザインとなっております。組合のことや福利厚生、組合ニュース、団体交渉の詳細など掲載しています。ぜひご覧ください！

今後とも内容を充実させてまいりたいと思っておりますので、ご意見等ございましたら是非お寄せください。

(書記 東 美穂)



ホームページ リニューアルの御挨拶

親愛なる鹿児島大学教職員組合の皆様、このたび組合執行部は、徳業活動の充実と皆様方により親しまれる教職員組合を目指し、ホームページの大規模リニューアルを行いました。タイトルには、目に優しく平和を意味する色鮮やかな桜の木の花を、爽やかな青空を背景に掲載し、続いて、組合事務所の連絡先・地図、加入案内、組合執行部メンバーの紹介が載っています。さらに福利厚生に関しては、教職員組合と関係が深い、九州労働基準や教職員共済関係の情報や最新のレクリエーション企画等を掲載しています。組合員の皆様方からの意見や情報収集として、メールや電話、アクセス等で御意見を御座りお寄せいただくこともできますので、どうか今後とも鹿児島大学教職員組合への御理解と御支援をよろしくお願い致します。

鹿児島大学教職員組合  
〒890-8580  
鹿児島県鹿児島市形元1-21-24  
電話：099-285-7285  
FAX：099-285-7285

お問合わせ

アドレス：<http://ka-kumiai.jp/>

## 直属部(工学部)＊ご退職祝いおよび親睦会＊ご報告

5月20日(金)19:00から、騎射場の料理店「柊 syu」にて、小原幸三先生との退職祝い及びOBを交えた親睦会を行いました。平成28年3月に退職された小原先生は、長年工学部で勤務され、その優しい人柄で多くの学生、教職員に慕われていました。また、数少ない工学部の組合員の心の支えでもありました。当日は8人が集まり、小原先生の退職後の生活の様子や今後の予定をめぐってお話をいただいた後、花束贈呈を行いました。当日参加したOBより、退職するとういう機会がなくなるので、また是非企画して欲しいと要望があり、できる限り実施していきたいと考えています。

(直属部(工学部) 大角 義浩)



## 2016年度役員選挙結果

6月2日より8日まで投票が行われました2016年度役員選挙の結果、役員候補者全員が信任されました。

中央執行委員長 北原 兼文(農獣医) 副委員長 宮下 正昭(法文)  
書記長 丹羽 佐紀(教育) 書記次長 日吉 武(教育)  
中央執行委員 城野 一憲(教育)、中島 宏(法文)、今井 裕(理)、坂巻 祥孝(農獣医)  
下桐 猛(農獣医)、山本 淳(水産)、山口 泰平(桜ヶ丘)  
会計監査委員 坂井 教郎(農獣医)、橋木 直也(農獣医)

216名の組合員数のうち、投票数は187票でした。

投票率は86.6%と、多くの組合員の方々にご協力いただきありがとうございました。

## ～2016年度 定期大会のお知らせ～

教職員組合定期大会を6月24日(金)18時から農獣医共通棟2階204教室にて開催致します。  
組合員の方でしたらどなたでも参加、発言ができます。ぜひご出席ください！

## 第 2 回団体交渉を実施

鹿大教職組は 5 月 27 日、2015 年度第 2 回の団体交渉を行いました。これは 3 月 22 日に教職組が大学側に提出した要求書に基づいて実施されたもので、大学側は、島秀典総務担当理事他 12 名、教職組側は坂本育生中央執行委員長他 6 名が出席しました。

技術職員の昇格・昇任の問題に関しては、農学部は今、技術専門員がいないのは農学部の技術職員が農水系の技術部と農場の技術部に分かれており、農水系では水産学部の技術職員が技術専門員になっているためであるとの説明がありました。各技術部について 1 人は技術専門員をおく考えはあり、農場の技術部については農学部からの推薦がなかったため技術専門員への昇任を行っていないとの説明でした。中途入職者の昇任も含めて部局の推薦に基づいて検討するとのことであり、積極的に部局長に推薦を働きかけていくことが必要だと感じました。なお組織の一元化に関しては、大学側が技術職員会議の代表を通じて技術職員の意見を聞くことを確認しました。

屋外作業を伴う技術職員の労働環境については、休憩時間を長くとする勤務形態は拘束時間が長くなることが懸念され、他の熱中症対策の検討を行うために、農学部に現状把握を依頼するとの回答でした。

共通教育改革に伴う教員の授業負担の不平等の解消については、組合側が旧教養部より移籍した教員と、もともと学部所属であった教員との間の共通教育英語の授業担当コマ数の差に関する資料を提示し、不平等が長年放置されている状況を訴えました。これに対して問題の重大性は十分認識したので、手順を踏んで学部へ働きかける旨の回答がありました。

教育・研究の質を維持するための予算の確保については、知的財産関連収支が赤字であることは認識しているが、外部資金獲得などへの波及効果が大いことを示すとともに、特許出願や維持の見直しの合理化を図ることが文書で回答されました。これに関連して島理事から運営交付金削減に伴う人件費の不足に対応するため教員を削減する必要がある旨の説明があり、これに対して組合側委員から文科省の施策を受けて作られた学共施設や人件費増大に結びつく役職者の増加などに対する経費削減努力の必要性を指摘しました。事務職員や技術職員も含めて、人員削減に対する大学側の意向は非常に強いことが感じられるやり取りでした。

産前・産後休暇取得や育児休業にともなう教育面のバックアップ体制とその教員への周知については、各学部の実情により必要な措置を講じていることが答えられ、研究支援員制度・保育支援制度についても紹介されましたが、時間が足りずにその職員への周知については質すことができませんでした。

福利厚生面の充実については、インフルエンザ予防接種については保健管理センターの業務増加のために対応できないとの説明があり、あおぞら保育園の充実のための大学への管理移管に関しては事務的な協議を行うことが合意されました。桜ヶ丘支部の組合事務所の確保については、桜ヶ丘事業場内で病院長や学部長と交渉ができないという現状については認識したので、本部から前向きに働きかけていく旨の回答は得られました。

時間が限られる中で不十分なところも多かったのですが、組合側の年度替わりによる執行委員の交代もありますので、2015 年度の団体交渉は終結とすることにいたしました。要求書の提出などをもう少し早くして、交渉時間(期間)を確保すればよかったと反省しています。組合員の皆さんの労働条件、職場環境を改善するための最も重要な活動ですので、引き続き最大限の努力をしていく所存です。

### ～教員の皆様へアンケートご協力のお願い～

鹿大教職員組合も加入しております、大学教職員組合の全国組織である“全国大学高専教職員組合”は 4 年に一度、教員の研究・教育・勤務条件に関するアンケートを行っています。アンケート結果は研究・教育・勤務条件等の改善に向けた全国規模の要求活動に生かされます。

教員の皆さまはぜひアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

こちらの Web サイト([http://zendaikyo.or.jp/?page\\_id=996](http://zendaikyo.or.jp/?page_id=996))へアクセス後、「はい」をクリックして回答ページへお進みください。

【回答に要する時間:10 分以内】【アンケート期間:4 月 7 日～7 月 11 日】